

4章 総合問題4

問題

【1】

ポイント

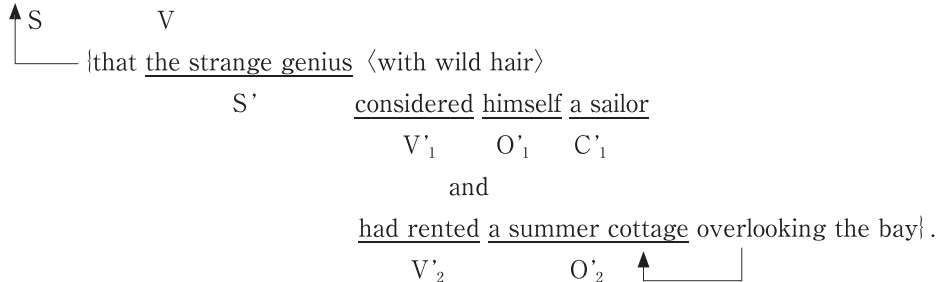
標準的なレベルのエッセイで、構文も取りやすい。論説文よりも物語文に近いので、段落展開よりも、登場人物、出来事、それに対する人の反応などを読み取る。必要と思われることは簡単にメモしておく、後から参照する箇所がわかりやすい。(2)～(4)のような説明問題は、和訳問題ではないので、該当部分の必要事項だけをまとめることが大事である。

解答

- (1) 「全訳」の下線部④を参照。
- (2) 原爆開発につながったと一部の人が考える、ルーズベルト大統領宛の手紙をアインシュタインが書いたという重要な時や、アインシュタインが町で迷子になったり、船を岸に乗り上げてしまった時にいつも地元の人たちに助けてもらったという愉快的な時。
- (3) アインシュタインが、デパートにサンダルを買いに行ったが、強いドイツ語なまりのために、店主のデイビッド・ロスマンは日時計を欲しがっていると誤解したこと。
- (4) マーサのお婆のマーガレットとアインシュタインは同じ髪型をしていたので、お互いすれ違った時に、まるで同じ髪型を見て驚いたかのように見つめ合っていたこと。

解説

- (1) News had already spread <across this sleepy ... on Long Island>



that 節が主語 News と同格になっている。news that ... で「…というニュース」と訳すが、この場合、節が長いので文末にきている。

Ex. News that he was missing has spread. (彼が行方不明というニュースが広まった。)

○ spread across ～ 「～中に広まる」

○ 形容詞 sleepy は、叙述用法 (I am sleepy.) では「眠い」の意味だが、限定用法では「活気のない；退屈な」という意味になる。

○ far out 「はるか遠くに；はるか奥まったところに」

○ consider himself a sailor 「自分を船乗りだと考える [思う]」 consider O C (O を C と考える) という形。O と C の間に to be が入る場合もある。

Ex. He considered the risk to be too great. (彼は危険が大きすぎると思った。)

- rent ~ vt. 「(お金を払って) ~を借りる」
「(ただで) ~を借りる」は borrow を使う。
- a summer cottage overlooking the bay 「その湾を見渡せる避暑用の別荘」
overlooking は他動詞 overlook (～を見渡す [見下ろす]) の形容詞用法の現在分詞である。

- (2) 下線部は、非制限用法の関係代名詞 which が導く節の一部である。which の先行詞は Einstein's Long Island summer vacation (1語で言えば vacation)。したがって下線部の意味は「(夏休みには) とても重要な時もあり, とても愉快的な時もあった」となる。下線部周辺に thus (このように), such (このような), these (こういった) という表現がないことから, 下線部の具体的な説明は, 下線部の後にあると判断してよい。すると, 下線部直後に There was A, and then there was B. (Aがあり, またBがあった。) という文があり, その部分がこの夏休みについて具体的に説明しているのだから, これをまとめれば解答が得られる。

〈Aの部分〉

the letter {that he wrote to President Franklin D. Roosevelt}
↑ {that some believe may have led to the development of the atomic bomb}

the letter を先行詞とする関係代名詞節が2つある。1つ目の節の関係代名詞は省略されており, 関係詞節中では wrote の目的語となっている。2つ目の関係代名詞は節中で主語の役割を果たしている。また, that の直後の some believe は some believe *that* (= the letter) may have led ... という節の that が文頭に移動した形である。

〈Bの部分〉

- the widespread delight among ~ over ... 「~の間に広がった...に関する喜び [愉快的な気持ち]」《直訳》→「~の間で...について愉快地に [楽しく] 話されていた」

- (3) 下線部は, そのすぐ前に非制限用法の関係代名詞 who があり, この先行詞が David Rothman なので, 「デイビッド・ロスマンはアインシュタインに毎年新しい 'sundials' を送った」となる。この sundials に関する話は, 第2段落の終わりから第3段落にかけて書かれているが, この sundials が文字通りの「日時計」ではないので, その点がわかるように説明することが大切。したがって, 強いドイツ語なまり (heavy German accent) のために, sandal (サンダル) を sundial (日時計) と受け取られたことをまとめればよい。
- (4) アインシュタインのヘアースタイルについては, マーサがおばのマーガレットを引き合いに出して語った, 第5段落の "My Aunt ...," とそれに続く "They looked ..." の2文に述べられているので, この内容をまとめればよい。つまり, 第1文の, 同じ髪型をしているマーガレットとアインシュタインがすれ違ったことと, 第2文の, その2人が同じ髪型を見て驚いたかのように見つめ合った [じっと見た] ことである。問題文に「Martha Paul が語った」とあるので, マーサが目にしたのは当然のこと。したがって, わざわざ I saw them まで説明に入れる必要はないだろう。

アルベルト・アインシュタインが、1939年の7月に初めてロスマン百貨店を訪れた時、オーナーであるデイビッド・ロスマンはすぐにアインシュタインだとわかった。④ほさほさの髪をした風変わりな天才が自分を船乗りと考え、湾を見渡せる避暑用の別荘を借りたというニュースが、すでにロングアイランドの外れにあるこの退屈な湾岸の村中に広まっていた。

アインシュタイン所有の貧相な15フィートある帆船の名前は「ティネフ」で、イディッシュ語で「価値の無い」、もしくは「がらくた」という意味である。また、湾一体に広まったうわさでは、その名前はそのままアインシュタインの航海術をも表していたのかもしれない。「アインシュタインの船が転覆した時、アインシュタインを救助したと言う者がこの辺りに30人いたよ。」とデイビッド・ロスマンの息子で、現在百貨店を経営しているロバートが言った。ロバートは、その年の夏は12歳だったが、当時60歳のアインシュタインが入ってきて、強いドイツ語なまりで日時計(sundials)を置いているかどうか尋ねているようだった。

「そこで、父が彼を外に連れ出し、日時計を見せたんだ。」とロバートが先週、店で思い出を話した。「アインシュタインが『それじゃない。sundialsだ。』と言い、足を指差したんだ。サンダル(sandals)を探してたんだね。」ロスマン百貨店が置いていた唯一のサンダルは細い女性用1足だけだったが、そのサンダルは身なりに無頓着なアインシュタインにぴったりのもようだった。「あのほさほさの髪をしてアインシュタインがここに立っていた光景が今でも思い浮かぶよ。」ロスマンは言った。「当時、あんな髪型をしている男性は珍しかったよ。それに、ベルトの代わりに白い綿のロープを使っていたんだ。たぶん帆船の一部だったやつなんだね。」

80歳になるロスマンは、アインシュタインがロングアイランドで過ごした夏休みを今でも覚えている一握りの村人の1人だ。そしてその夏休みには、とても重要な一時もあり、楽しい一時もあった。原爆の開発につながったかもしれないと一部の人々が信じているフランクリン・D・ルーズベルト大統領宛の手紙を書いたのもこの時だし、また、アインシュタインが町で迷子になったり、船を岸に乗り上げたりして、しょっちゅう助けてやる必要があったと地元の人々があちこちで愉快地話していたのもこの時だった。

アインシュタインの別荘から数軒ほど先に、82歳のマーサ・ポールが夏になると住む家があった。今は、1年を通じて住んでいるが、彼女は窓から、浅い海からぼつんと突き出している1個の岩を指差し、あそこで、アインシュタインがいつも腰を下ろし沖を見つめていたと言った。「お婆のマーガレットの髪型はアインシュタインと同じでした。一度2人が海岸を散歩中にすれ違うのを見ました。」とポールは思い出して言った。「2人は、まるで同じ髪形を見てびっくりしたかのように、顔を上げ見つめ合いました。」「私たちにとって、彼は、おかしな髪形をし、変ななまりのある未熟な船乗りに過ぎなかったのです。」と彼女は付け加えた。「人々は、外の海を見やって、行くあてもなく帆船に乗っているこの変わった男を見て笑ったものでした。」

1939年に、アインシュタインはいくつかの科学法則をまとめる統一場理論を捜し求めている。たぶん、航海のおかげで、彼の思考は船とともに漂うことができたのだろう。後に、アインシュタインはデイビッド・ロスマンに手紙を書いており、その中で避暑地の湾を「それまで経験した中で最も美しい、船を走らせることができる場所」と評し、「生涯で一番楽

しい夏」だったと述べている。「私の父は、町に住む数少ないユダヤ人の1人でしたが、独学しました。」とロスマンは言い、さらに続けて、父はそれにも関わらず政治、芸術、航海、音楽や哲学についてアインシュタインと議論できたと言った。

かつて、アインシュタインは自分の相対性理論やその他の法則を1枚の紙切れに図を書いて説明しようとした。ロスマン家は、最近その紙切れを収集家に売った。ロスマン家は、まだたくさんのアインシュタインの手紙を保有していて、その中にはアインシュタインの船のこと、家族と自分の健康のこと、第2次世界大戦への不安が書かれている。それらはすべてアインシュタインの個人用の便箋にタイプで打たれており、「アルベルト・アインシュタイン」というきれいですっきりとした筆跡のサインもある。アインシュタインは、翌年の夏はニューヨーク州北部のサラナク・レイクで過ごしたが、デイビッド・ロスマンとの文通は続き、ロスマンはアインシュタインに毎年新しい'sundials'を1足送った。

注.....

- ℓ. 2 ◇ recognize ~ *vt.* 「～(=人) が誰であるかわかる」
- ℓ. 5 ◇ sailboat *n.* 「帆船；ヨット」
- ℓ. 6 ◇ junk *n.* 「くず；がらくた」
- ℓ. 8 ◇ turn over 「転覆する；ひっくり返る」
- ℓ. 14 ◇ fit right into ~ 「～にぴったり合う」
- ℓ. 16 ◇ come off ~ 「～からとれる」
- ℓ. 18 ◇ a handful of ~ 「わずかの～；少数の～」(≡ a small number of ~)
- ℓ. 23 ◇ ashore *adv.* 「岸〔浜〕に〔へ〕」
- ℓ. 25 ◇ solitary *adj.* 「1人だけの；たった1つの」
- ℓ. 26 ◇ stick out of ~ 「～から突き出る」
 - ◇ shallow *adj.* 「浅い」
- ℓ. 28 ◇ recall ~ *vt.* 「～を思い出す」
 - ◇ stare at ~ 「～をじっと見つめる」
- ℓ. 32 ◇ scientific principles 「科学法則〔原理〕」
- ℓ. 36 ◇ educate oneself 「独学する」
 - ◇ go on to ... 「続けて…する」
- ℓ. 39 ◇ scrap *n.* 「かけら；断片」
- ℓ. 41 ◇ typewrite ~ *vt.* 「タイプライターで打つ」
- ℓ. 42 ◇ neat *adj.* 「きれいな」
 - ◇ tight *adj.* 「しっかりとした」
 - ◇ script *n.* 「書体；筆跡」
- ℓ. 44 ◇ correspond with ~ 「～と文通する」

【2】

解答

- (1) 「全訳」の下線部①, ②, ③を参照。
- (2) ① c ② a ③ b ④ a
- (3) c, d, f
- (4) ① Because they do not share their adoptive parents' genes.
 ② The group does.
 ③ He disagrees with it.
 ④ Because they find that their child's behaviour at school is quite different from that at home.
- (5) 子供の性格を形成する要因は親というよりむしろ遺伝子と社会集団にある。過食やテレビ好きなどの遺伝子を持たない養子はそれを持つ養親の行動を真似ることはないし、自閉症や言語障害にも強い遺伝的根拠があることが認められる。そして遺伝を端緒とする性格形成を完成するのが集団の影響である。社会的動物である人間は、自己が属する集団による影響を強く受ける。家庭や親はそれら集団の1つにすぎない。事実、同じように育てられた子供は男女それぞれの性集団を形成し、親よりむしろその集団の影響を受けるし、ある親が属する集団の他の親たちと価値観を共有していない場合には子供はむしろ集団による影響を受けるのである。(291字)

解説

- (1) ①普通の同等比較の問題。易しい部類の問題だろう。not as ~ as であるから、「親が子供に対して、私たちが希望し、また恐れているほどの影響を及ぼすことは決してない」となる。“not nearly = never”, すなわち強い否定になるということに注意する。

- ②まず、構文をしっかりと捉えること。powerful は形容詞である以上、文の主語にはなりえない。また、英語においては挿入句を“, ~, ”で表し、カッコを用いないのが普通。

Far more powerful in shaping behaviour, according to GS theory, is

C

V

the effect of the group.

S

far more powerful の far は副詞で、more powerful という比較級を強調する役割を果たす。そして、more powerful の比較の対象 (than 以下) が省略されていることから、これを前後の文脈から見抜いた上で訳したい。本文では「2人の間 (特に母子間) の関係を学んでも、他の人間関係には応用できない」という見解と比べて、more powerful と言っている。したがって、「行動形成において、2者間 (特に母子間) の人間関係 (の研究) よりはるかに強い影響を持つのは、GS理論によれば、集団の持つ影響である」となる。

- ③ acceptable = accept + able であることから「受け入れられる」という意味であることは容易に推測できる。問題は、「何に」受け入れられるのか、ということである。

これも、前の文の「家庭で文句・不平を言う子供が遊び場でもそうするわけではない」という記述から、「(個々の具体的状況下に)受け入れられる行動規準は、賞罰同様、多様 (= different) である」ということであろう。

- (2) ④ do the same とは食べすぎる親と「同じことをする」のである。
- a 「両親の遺伝子を共有する」
 - b 「テレビを見る」
 - c 「食べすぎる」
 - d 「差異をなす、重要である」
- ⑤ 「この疑問」とはすなわち前の What is it, then, that shapes the child's environment if it is not the parents? を指す。この文での is it that はいわゆる it is ... that ~ の強調構文であり、what が強調されたもの。
- a 「何が子供の環境を形成するのか」
 - b 「遺伝子が唯一の決定因子なのか」
 - c 「いかに他の子供とうまく付き合うか」
 - d 「成人の人格は家族ドラマにより形成されるのか」
- ⑥ いったんこれら単一の性集団に帰属した場合に、まったく異なる行動パターンを身に付ける主体 (= they) とは、誰か?
- a 「集団」
 - b 「少年少女」
 - c 「行動パターン」
 - d 「両親」
- ⑦ 比較の基本。The climate of Japan is milder than that of Egypt. などの文を想起すればよい。
- a 「長期的影響」
 - b 「仲間のプレッシャー」
 - c 「G S 理論」
 - d 「その概念」

- (3) まず、下線部③は、「なぜ個性の研究において遺伝的要素が軽視されてきているか」の具体例となる部分であり、遺伝子がもたらす否定的側面の記述である。

liberal commitment to equal opportunity based on merit (長所に基づく機会均等への盲信)

the shadow of Nazi eugenics (ナチスの優生学がもたらした影 (暗部))

後者については常識的にわかるだろう。すなわちナチスドイツは遺伝子 (= 民族) に優劣をつけ、劣った遺伝子の抹殺を正当化しようとした。

問題は前者である。個々の能力を基礎とする機会均等自体は、むしろ肯定的にも捉えられるからである。しかし、機会が与えられさえすれば万事正しいというわけではなかろう。たとえば、医学部入試の面接をすべて関西弁で行うことにして、結果的に関東の学生がみな不合格になったとしても、関東の学生が劣っているということにはならないからである (関西弁の能力は遺伝とは直接関係ないが)。同様に、例えば、

色盲の者には読めないような試験問題を作成したらどうか。機会が与えられたからといって到底正当であるとは言えない。

すると、本問選択肢においては、まず、遺伝とは関係のない**b**は明らかに不適當。**c**と**d**は、「劣った遺伝子の否定」を意味するものであり答えとなる。では、**a**、**e**、**f**は、どうか。**e**は、機会均等といってもやり方がおかしければ不当、という見解に合致しそうだが、「画一的な能力」を問うものにすぎない以上、遺伝子とは直接関係がないと思われる。また、倫理的におかしいとは言えないだろう。**a**は、精神薄弱児に得点を与えることにより、正常者の状況に近づける事例である（いわゆる差別是正措置（affirmative action））。確かに、この措置により正常者が不当に扱われる可能性もあろうが、これはむしろ遺伝的強者の否定であり、実質的平等に適い、倫理的にみてもおかしいとは言えない。よって、やはり「劣った遺伝子の否定」と考えられる**f**が答えとなる。

- (4) ①「本文によると、どうして養子は養親の行動をまねしないのか。」

ℓ. 14 not share the overeating parents' genes を参考にする。

- ②「ジュディス・ハリスによると、親以上に子供の行動に影響を与える因子は誰または何か。」

ジュディスはG S理論の提唱者である。そのG S理論によれば、下線部◎により集団の影響を原因と考えることになる。

- ③「ジョン・アーチャーは、両親が子供の性的同一性に影響を与えるという意見に賛成か反対か。」

ℓ. 72 Gender roles seem to be under the control of the group. なのであるから、彼は賛成していない。

- ④「親が子供の先生と話をする時しばしば驚くのはなぜか。」

ℓ. 85 The fact that your kids …「家庭で文句を言う子供が遊び場でもそうしているとは限らない」ということから。

- (5) 本問のように長い文章を、ある程度の長さの要旨にまとめる問題では、文章に書かれている内容をただやみくもに列挙しても正解にならない。文章全体を貫く作者の主張は何か、そしてその主張の根拠として何が述べられているか、作者への反論はあるか、もしあるとすればそれをいかに否定し、批判に答えるか、などのことを見極めた上で、作者の主張に必要な箇所を見だし、的確に記述することが必要である。これらのことを考えてもらうために、あえて設問中にこれを明示した。

例えば、本問において性格形成要因として遺伝子が挙げられているが、この理由を単に「養子の研究によりわかった」とだけ書いても説得力はないであろう。すなわち、いかなる養子の研究をすれば遺伝子こそが性格形成要因と言えるのか、ということこそがこの文章の説得力を左右するのである。したがって、「過食やテレビ好きなどの遺伝子を持たない養子はそれを持つ養親の行動をまねることはない」という記述が不可欠となる。

また、受験生に意外と多い間違いは、設問文にしっかりと答えていないということである。この設問文では「性格を形成する要因は何だと論じられているか」と聞かれ

ているのだから、まず「性格を形成する要因は…である」と素直に問題文に答えてほしいものである。

全訳

遺伝子と性格

古代中国では若者が重大な罪を犯したら、両親にも責任があるという理由で、その若者と一緒に死刑になっていた。この理屈が、現代の社会政策に再び現れつつある。親は子供の行動形成に責任があり、若者の犯罪率は上昇している。ということは親が何か間違っただけをしているに違いない、という理屈だ。何人かみせしめにすれば、残りの親は育て方を修正してきちんと子供を育てるだろう。しかし最もできた親ですら、そんなに子供をコントロールすることができるのだろうか。

ある意外な理論を提案している心理学者が増えてきているようである。その理論とは、④親が子供に対して、私たちが希望し、また恐れているほどの影響を及ぼすことは決してない、というものだ。遺伝学者のロバート・プロミンらの10年間にわたる研究によって、我々成人の性格の約半分は遺伝子の産物であるということがわかっている。驚くべきことに、多くの親の行為は、影響力があるはずだとあなたは想像するだろうが、そうではないようである。

たとえば食事だ。過食の両親を持つ子供は成長すると同じことをするという考え以上に明らかな例があるだろうか。しかしこれは事実ではない。養子にもらわれた子供は、過食の親の遺伝子を共有していないので、親の行為をまねることはない。同じことがテレビを見ることにもあてはまる。テレビをかなり見る家庭に養子として入った子供は、その子供の生物学上の両親もテレビを見るのが好きでない限り、テレビの前にくぎづけになることはないだろう。物事に対する感じ方、たとえば、死刑やジャズに対する感じ方でさえ、親の影響を最も受けたように見えるが実は、強力な遺伝的要素を持っていることがわかる。

世間では体罰や離婚やテレビの中の暴力（シーン）が子供に与える影響について論じられているが、複数の子供を持つすべての親が知っている事実、つまり、同じ明白な影響に対する反応は子供によって異なるという事実にはほとんど触れられていない。これは過去50年間にわたって、発達心理学が遺伝学を断固として無視してきたためである。

長所に基づく機会均等への盲信からナチスの優生学がもたらした影まで、性格の研究で遺伝的要素がこれまで人気がなかった理由は数多くある。今世紀の大半を通じて、教育者や社会問題評論家は、子供の発達の責任はその環境、特に両親にあるとしてきた。権威主義で過保護な親が子供を臆病にってしまう一方で、より寛容な育て方は子供を心配症にしまうということが書かれている本や記事が山ほどある。

しかしそういった意見は、遺伝子の影響が医者の中でより受け入れられている今となっては、かなり時代遅れのように思える。たとえば1970年代までは、自閉症児は、感情的にあまりに冷やかかで子供が親密な関係を築くことができなかつた母親が生み出すのでであると、精神分析学者は主張した。現在は、自閉症には強い遺伝的根拠があると一般に認められている。同様に、言語障害になる子供がいるのは、親が子供に十分に語りかけなかったからだと思われている。食習慣が悪かったり、うつ病にかかっている親の子供が、同じ状態になる傾向が

あると報告することもあまり役に立たない。なぜなら、遺伝的要素を取り除くと、養子の研究にもあったように、そのつながりは普通消えてしまうからだ。

集団が子供に与える影響

しかし遺伝子は唯一の決定要因ではない。遺伝子はどちらかという、子供の環境がそれをさまざまな完成品にしていく原料を提供するのだ。それでは、子供の環境を形成するのは、親でないとしたら何だろうか。最近、この問いに答えようという新しい試みが、アメリカ人の心理学者ジュディス・ハリスによってなされた。*Psychological Review* 誌で彼女は、成人の性格は私たちと親との間で演じられる家族ドラマによってではなく、私たちが近所の他の子供とどのようにうまくやっていくかによって形成されると提唱している。

子供の発達についての議論の中で常に検討されるわけではない心理学研究の分野からの証拠を組み合わせ、ハリスは集団による社会への適応（GS）理論を強力に主張している。彼女は、我々は特定の行動を特定の状況の中で学ぶ、という事実から出発する。家庭は子供が行動の仕方を学ばねばならないいくつかの環境のうちの1つにすぎない。だから、家庭での子供の振る舞いに関しては、その行動に影響を与えることができても、これは他の状況では必ずしもあてはまらない。「これは進化的な道理にかなっていません」とハリスは言う。「両親の家というのは、子供が将来過ごすはずのところではありません。子供はすでに遺伝的に親に類似しています。その上に親の習慣まで全部取り入れるとしたら、外の世界の変化する状況に適応する柔軟性がほとんど身につかなくなるでしょう。」

人間は社会的動物だ。何百万年もの進化の間に、我々は地位や配偶者を求めて競うだけでなく、集団の中で他人とうまくやっていく仕組みをも発達させてきた。育成論に賛成する者は、2人間の関係、主として母親と赤ん坊の関係に焦点を合わせる。しかし、ある人間といる時にどう振る舞うかを学んでも、他のまったく違った人間——たとえば父親——といる時にどう振る舞うかについて、多くのことを教えてくれるわけではない。◎行動形成において、それよりはるかに強い影響を持つのは、GS理論によると、集団の持つ影響である。

男女の役割を考えてみよう。育成論の観点から見れば、男女の役割は、両親が影響を及ぼす重要な領域である。つまり、疎遠な父親と口うるさい母親、そして他のさまざまな子育てのスタイルが、子供の性的同一性の発達に重大な影響を与えると主張されている。しかしその逆の証拠も強力だ。

セントラルランカシャー大学のジョン・アーチャーは、性差がどのように発達していくのかを研究してきた。「我々は、同一世代の親が男児と女児をほぼ同じやり方で育てるという試みを、およそ20年にわたって真剣に続けてきました」と彼は言う。「しかし、どの学校も親もわかっているように、男の子と女の子は早い時期から自動的に単一の性集団に分かれていくのです」。いったんこれらの集団に入ると、男子と女子はまったく異なった行動パターンを発達させる。子供たちが身につけるのは、親の行動パターンではなく、むしろこれらなのだ。性的役割は集団のコントロール下にあるように思われる。

子供は確かに、親が信じていることを共有するが、それは親が手をかけて育てるからではなく、親の集団が子供の集団に影響を及ぼすその及ぼし方のためである。ある子供の親が、その集団内の他の子供たちの親と価値観を共有していない時、その影響をはっきりと見ることができる。これは、移民の場合にしばしば起こる。GS理論は、子供は自分の両親の価値

観ではなく集団の価値観に従うだろうと推測している。

集団の圧力が子供に影響を及ぼすという考えには、目新しいものは何もない。G S理論の独創的なところは、長期にわたる集団の影響は家庭の影響よりもずっと大きく、一般に認められてきたよりもずっと早い時期に始まるという主張である。親が子供にどのように振る舞うかが家庭での子供の振る舞い方に影響を与えるという点を、G S理論は否定していない。しかし経験によって身についた行動は、それを学んだ状況と結びついている。子供が家で文句を言い口論するという事実は、子供が遊び場でもそうするということとは違う。⑤個々の具体的な状況に受け入れられる行動基準は、賞罰同様、多様である。親は子供の担任と話をした時にしばしば驚く。「この人は私の子供のことを話しているのだろうか。」

これらの発見は、より不安の少ない子育て方法と、学校の果たす役割のより大きな評価につながるかもしれないし、個々の親を非難することは時間の無駄だと示唆しているように思われる。

注

- ℓ. 2 ◇ execute 「実行する；死刑を執行する」
- ℓ. 5 ◇ mend one's ways [manners] 「素行を改める」
- ℓ. 12 ◇ what could be more obvious than ~?: could be は一種の婉曲表現 (仮定法)。「いったい than 以下よりも明白なことなんてありうるだろうか?」ということ。
- ℓ. 16 ◇ glue *n.* 「接着剤」 *cf.* glue A to B (AをBにくっつける)
- ℓ. 23 ◇ resolutely 「決然として；断固として」 *cf.* resolute
- ℓ. 25 ◇ liberal 「①自由主義の；進歩的な ②融通性のある；自由な ③偏見のない；寛大な ④気前のいい；惜しまず使う (of; with ~を伴って) ⑤豊富な；たくさんの」
- ℓ. 28 ◇ authoritarian *adj.* 「権威主義の；独裁的な」 *n.* 「権威主義者；独裁者」
- ℓ. 56 ◇ evolution 「進化」 *cf.* evolve
- ℓ. 58 ◇ subscribe 「署名する；寄付する；賛同する；予約購読する」
◇ nurture 「養育；しつけ」
- ℓ. 80 ◇ peer 「同等の人；匹敵するもの；同輩；仲間；貴族」

[3]

解答

- (1) c (2) b (3) c (4) a (5) b
- (6) d (7) a (8) d (9) b (10) a

Script

M: Good morning, ma'am. How can I help you?

W: I need a car for three days — until Saturday afternoon, that is. Could you tell me what you have available?

M: I'll show you what we have. Now, are you interested in an economy, mid-range, or luxury model?

W : Well, I'm going to several important meetings, so I'd like something nice-looking, but I don't want to spend too much.

M : Well, if you want an impressive looking car, I recommend the Lincoln. It's our four-door luxury model. It's very popular among traveling executives. It's spacious
10 enough to offer a comfortable ride for guests if necessary, and drives so quietly you'll wonder if the engine is running or not.

W : Hmm, it does look comfortable. How much is it?

M : \$220 a day plus tax.

W : That's a bit high. What kind of gas mileage does it get?

15 M : Approximately nineteen miles to the gallon, provided you aren't driving in the mountains.

W : I won't be, but still, it's going to add up. I'll be traveling at least five hundred miles all together.

M : What do you have in mind? We have a number of other choices.

20 W : I don't expect to have anyone else in the car. Something sporty would be nice.

M : How about the Corvette, then? It's got a powerful engine, it handles well, and it's \$30 a day cheaper than the Lincoln.

W : What about the gas mileage?

M : Not great, I must admit. Only about twenty miles per gallon. But you'll love
25 driving it.

W : Actually, I was thinking more of something European. Have you got a BMW?

M : We have two BMWs, but I'm afraid one has been rented and the other is reserved. If you had called before you left, you could have gotten it. I just accepted the reservation before lunch.

30 W : What a shame. Do you have any other suggestions?

M : In fact, I do. I have an Italian car, a black Alfa Romeo, that I personally think is one

of the classiest sports models on the market. It rides just as well as any model of BMW, gets good gas mileage, and in my opinion is much better to look at. The little picture here doesn't do it justice. Why don't you let me take you outside to the lot and show it to you?

35

W : That won't be necessary. I know this car very well, and I love it. I would have asked you about it in the beginning if I had thought you would have one available. How much is it?

M : Let's see. It's ordinarily \$210, but since this isn't our busy season, I could let you have a discount. How does \$195 a day sound? That's only \$5 more than the Corvette and you'll save a lot more than that on gasoline.

40

W : That sounds very good.

M : Would you prefer to pay with cash, travelers checks, or a credit card?

W : I'd like to charge it. Do you accept American Express?

45

M : We accept all major cards. Could you please fill out this form while I check your card? And I'll need to see your driver's license too.

W : Certainly.

全訳

M : おはようございます。いらっしゃいませ。

W : 3日間車が必要なのですが、つまり土曜日の午後まで。どういう車が借りられるか教えていただけますか。

M : あるものをお見せいたします。さて、低価格車、中程度、あるいは高級車がよろしいでしょうか。

W : そうですね、重要な会議にいくつか行くので何か見栄えのよいもの方がいいのですが、費用はそれほどかけたくありません。

M : 見栄えがするのがよろしければ、リンカーンをおすすめします。4ドアタイプの高級車ですね。ご出張をされるエグゼクティブの方々にたいへん人気がございます。お客様をお乗せする必要がある場合には、十分な広さがあって快適な乗り心地ですし、非常に静かに走行するので、エンジンが動いているのかどうかと思われるくらいでしょう。

W : なるほど。確かに快適そうですね。おいくらですか。

M : 1日220ドルプラス税です。

W : ちょっと高いですね。燃費はどれくらいですか。

M: ガロンあたりおよそ 19 マイルですね。山の中を運転されるのでなければですが。

W: それはありませんが、それにしても加算されていきますからね。全部で最低でも 500 マイルは移動しますから。

M: 何かお考えのものはありますか。他にもたくさん選べますよ。

W: 車に誰か他の人を乗せる予定はありません。何かスポーツタイプのものがいいですね。

M: では、コルベットのいかがでしょう。エンジンが強力ですし、運転しやすいですよ。リンカーンより 1 日あたり 30 ドルお安いですし。

W: 燃費の方はどうなんですか。

M: 抜群とは言えません、正直に申し上げますと。1 ガロン 20 マイル程度にすぎませんが、でも楽しく運転できるでしょう。

W: 実は、何かもうちょっとヨーロッパ風のを考えていたのですが。BMW はありますか。

M: BMW は 2 台あるのですが、残念ながら 1 台は貸し出されておまして、もう 1 台には予約が入っております。お出になる前にお電話いただければお取り置きいただけたのですが。お昼前にご予約を受け付けただけですから。

W: なんて残念。何か他におすすめのものはありますか。

M: ええ、ごさいます。イタリア車が 1 台、黒のアルファロメオがごさいます。個人的には、市場に出ているスポーツカーモデルの中では一番品を感じさせるものの 1 つだと思いますね。乗り心地は BMW のどんなモデルにも負けませんし、燃費もよいです。私の考えでは見た目はこちらのほうがずっといいですよ。ここにある小さな写真では、そのよさがわかりません。駐車場にご案内して、お見せいたしましょうか。

W: その必要はありません。この車のことはよく知っていて大好きですから。こちらでお借りできると思っていたら、最初にお聞きしていたのに。おいくらですか。

M: そうですね。普通は 210 ドルなのですが、今は繁忙期ではないので、割引して差上げられます。1 日 195 ドルではいかがでしょう。それだとコルベットより 5 ドル高いだけですし、ガソリンはずっと多く節約できます。

W: それはとてもよさそうですね。

M: お支払いは、現金、トラベラーズチェック、クレジットカードのいずれがよろしいですか。

W: カードがいいです。アメリカンエクスプレスは使えますか。

M: 主要なカードは全部お取り扱いできます。カードを照会している間、こちらの用紙にご記入いただけますか。また運転免許証も拝見しなければなりません。

W: もちろん。

注

- ℓ. 5 ◇ luxury = something inessential but conducive to pleasure and comfort 「豪華な；高級な」
- ℓ. 6 ◇ nice-looking 「ルックスのいい；見栄えのする」
- ℓ. 8 ◇ impressive = making a strong or vivid impression; striking or remarkable 「印象的な；強い印象を与える」
- ℓ. 9 ◇ executive = someone in a high position, especially in business, who makes decisions and puts them into action 「経営幹部；重役；幹部」

◇ spacious = large and with a lot of space

ℓ. 10 ◇ offer a ride 「乗車をすすめる；車に乗せてあげると言う」

ℓ. 11 ◇ run = operate 「(機械などが) 動く；作動する」

ℓ. 14 ◇ gas mileage 「燃費効率」

○ mileage = the distance that a vehicle has travelled or the distance that it can travel using a particular amount of fuel ≙ fuel efficiency

ℓ. 15 ◇ gallon 「(液量単位) ガロン」 ※ 1 ガロンは約 4 リットル。

◇ provided *conj.* = if … ; only if … 「…という条件で；もし…ならば」

ℓ. 17 ◇ add up = form a large amount ; make a large total or amount 「(金銭・問題などが) 徐々に大きくなる」

ℓ. 18 ◇ all together 「ひとまとめにして；全部で；一緒に」

ℓ. 19 ◇ a number of = a collection of persons or things; several 「多数の；いくつかの」

ℓ. 21 ◇ handle = if a car handles well, it is easy and pleasant to drive

ここでは「(車が) 乗りやすい；運転しやすい」

ここでの handle は車のハンドルではないことに注意。車のハンドルは wheel という。ただし wheel には車輪の意味もある。

ℓ. 24 ◇ I must admit (that…) 「…であることを認めざるをえない」

Ex. Now we must admit that we have a problem.

(こうなったら、問題があるということを認めざるをえない。)

口語では本文のように文の最後に I must admit と付け加える言い方をすることもよくある。

ℓ. 27 ◇ rent 「賃借する」

ℓ. 28 ◇ accept reservations 「予約を受け付ける」

ℓ. 32 ◇ classiest *cf.* classy = elegant and fashionable

◇ on the market = available for buying 「市場に出ている；販売されている」

ℓ. 34 ◇ do ~ justice [do justice to ~] = recognize the true value of somebody [something] 「~の真価を十分に示す」

ℓ. 39 ◇ busy season 「繁忙期；混み合う時期」

ℓ. 40 ◇ discount 「割引；値引き」

ℓ. 44 ◇ charge = pay with a credit card 「カード払いをする」

ℓ. 45 ◇ fill out 「(用紙などに) 記入する」

【4】

解答

(1) (I) was tired and so were the others.(.)

(2) Only then did he realize it.(.)

(3) To the west of San Francisco Bay lies (the Pacific Ocean.)

(4) (So) delighted was she that she jumped (up into the air.)

解説

- (1) 肯定文 + so V S. 「SもまたVである」
- (2) Only then という否定の副詞句が文頭に置かれた結果、倒置形になる。
- (3) 主語は太平洋であるから、MV Sの倒置形になっていることを予想する。
○ to the west of ~ 「～の西方に」、in the west of ~ 「～の中の西部に」、on the west of ~ 「～と接して西部に」
- (4) いわゆる so ~ that … 構文において、so ~ が文頭に出る場合はその後が倒置形になる。

【5】**解答・解説**

- (1) Why he did it is beyond my comprehension.
○ be beyond *one's* comprehension 「～の理解を超えている；～には理解できない」
- (2) He failed to keep his promise.
○ fail to … 「…できない」
- (3) He knows quite a little about the movie.
○ quite a little 「たくさん」
- (4) I can't thank you enough.
○ can't … enough 「いくら…してもしすぎることはない」
- (5) There is no turning back now.
○ There is no …ing 「…することができない」

【6】**解答**

- (1) Who do you think it can be(?)
- (2) (My wife has her own ideas) as to how children should be brought up.(.)
- (3) (You can't judge a person's attitude to religion) by how often he goes to church.(.)
- (4) (Jack Jones when seen) from behind could be taken for a girl.(.)
- (5) (We have learned through experience the importance of watching and judging events) to avoid being surprised by their consequences.(.)

解説

- (1) 「その人は一体誰だと思いますか。」〔who it can be + do you think〕
who は it の主格補語が文頭に出たもの。
can be ~ 「～であり得る」は「可能性・推量」を表す。
- (2) 「私の妻は子供の育て方について彼女なりの考えを持っている。」
○ as to ~ 「～に関して」〔= about ; concerning〕
○ how 「どのようにして」〔方法〕
○ bring up ~ 「～を育てる」up は副詞。〔= raise ~ ; educate ~〕
- (3) 「どれくらい教会へ行くかによって人の宗教に対する態度を判断することはできない。」
by は「判断の基準」を表す前置詞。

○ how often 「どのくらいの頻度で」

○ go to church 「教会へ行く」

建物や場所を表す名詞が本来の目的・機能を表す場合は無冠詞が原則。

(4) 「後ろから見ると、ジャック・ジョーンズは女の子と間違えられるかもしれない。」〔仮定法過去〕

○ when (he was) seen from behind

○ from behind 「後ろから」(二重前置詞)

○ take A for B 「(間違って) AをBだと思う」

(5) 「結果に驚かないでいられるように、出来事を観察し判断することが重要であることを経験から学んだ。」

不定詞の副詞用法。‘目的’を表す。

○ avoid …*ing* 「…するのを避ける」be surprised の動名詞形がくる。〔× avoid to …〕

○ be surprised by ~ 「～に驚く」

※ be surprised at と同様、この形も普通。

○ consequence 「結果」

【7】

解答・解説

◆は『解体英熟語 改訂第2版』の参照番号を示す。

(1) have [get ; go], way ◆448

○ have [get ; go] one's own way 「自分の思い通りにする」

(2) sense ◆449

○ make sense 「道理にかなう」

(3) progress [advance ; improvement] ◆450

○ make progress 「進歩する」

(4) difference ◆451

○ make no difference 「重要でない←違いがない」

⇔ make a difference 「重要だ」

(5) believe ◆453

○ make believe that 節 「…のふりをする」

(6) it ◆454

○ make it 「電車などに間に合う」

(7) harm, good ◆457, ◆458

○ do A harm ; do harm to A 「Aに害を与える」

(8) justice ◆460

○ do A justice ; do justice to A 「Aを実物どおりに表す」

(9) took place ◆461

○ take place 「起きる」

- (10) takes, pains ◆463
 ○ take great pains 「(非常に) 苦勞する」
- (11) took, liberty to use [of using] ◆466
 ○ take the liberty to … [of …ing] 「勝手に…する」
- (12) mind, business ◆469
 ○ Mind your own business. 「(命令形で) 余計な口出しをするな」
cf. interfere in A [intervene in A ; meddle in A] (Aに干渉する)
- (13) came to light ◆473
 ○ come to light 「秘密などが明るみになる」
cf. bring A to light (Aを明るみに出す)
- (14) nothing, do with ◆474
 ○ have nothing to do with A 「Aと関係がない」
 have something [much] to do with A 「Aとある程度 [大いに] 関係がある」
- (15) make sure ◆480
 ○ make sure (of ~ ; that 節 ; wh- 節) : ① 「…を確かめる [念を入れる]」
 ② 「…を確保する」
- (16) far ◆482
 ○ go too far 「行きすぎる ; 言いすぎる」
 ○ take back A 「A (=言葉など) を取り消す [撤回する]」
- (17) served, right ◆483
 ○ serve right 「自業自得だ ; いい気味だ」
- (18) willing to [ready to ; prepared to] ◆500
 ○ be willing to … 「甘んじて…する」
 ○ be ready [prepared] to … 「喜んで…する ; …する準備ができている」 ◆495
 ⇔ be reluctant [unwilling] to … ◆501
- (19) obliged [compelled ; forced ; bound] to ◆504
 ○ be obliged [compelled ; forced ; bound] to … 「…せざるを得ない」
 ○ oblige, bind [-bound-bound] には‘義務’, compel, force には‘強制’の意味が含まれる (forceの方がより強制の意味が強い)。 ◆491, ◆502, ◆503
- (20) to blame ◆506
 ○ be to blame for A 「Aの事で悪い [責任がある]」